

意見第 5 号

国道445号に計画されている上空通路建設計画に対して、慎重な対応を求める意見書

人吉市は、相良700年の歴史に培われ、青井阿蘇神社を始めとする数多くの歴史・文化的資源を生み出し、現在でも数多くの風情のある街並みを残しています。これが認められ昨年4月に、人吉球磨のストーリーが日本遺産に認定されました。しかしながら、市内の中心地である国道445号沿いにある2つの病院を連結する上空通路の建設が予定されています。

病院が所在する上青井町は、国宝青井阿蘇神社の門前町であり、人吉市の中心街でもあります。県内唯一の国宝として注目を浴び、観光客数は年を追うごとに増加傾向にあり、桜馬場から東に一直線に延びる国道を含めた周辺環境など、神社を支える景観も国宝価値の一部となっています。

また、通りに沿うように球磨川が流れ、人吉城跡を眺望するために、多くの観光客が訪れる場所でもあります。神の御加護が地域住民に広く渡るようにとの先人たちの願いから100年もの間、おくんち祭の神幸行列が通ってきた道です。先人たちから脈々と受け継がれた伝統と文化的価値は、私たちの生活と共にあり、地域住民の畏敬の賜物であります。

もし、上空通路が完成されれば、伝統的に行われてきた神幸行列もどのように変わるかわかりませんし、日本遺産であるこのまちの景観を損ない、将来のまちづくりにも多大な影響を与えてしまう恐れがあるとして、一昨年10月より市民有志の方々において相手事業主に対して署名活動も行われてきました。署名総数4,342名（人吉市民2,539名、球磨郡1,456名、人吉球磨計3,995名）の方々が賛同しておられます。

熊本県内において、国道上での上空通路の建設計画は初めてのことであり、また人吉市は現在、景観行政団体を目指し景観計画を策定中でもあります。このようなことから、上空通路建設は本市の将来のまちづくりに対しても多大な影響を与えることが懸念されます。

また、本県全域に甚大な被害をもたらした熊本地震を経験した今、当地域では人吉盆地南縁断層による大規模地震の恐れもあることから、緊急輸送道路に指定されている国道445号上への上空通路建設は、構造上からも安全性が非常に危惧されます。

よって、熊本県におかれましては、この事業に対して、本市の地域住民の声に耳を傾け、慎重な対応をしていただきますようお願い申し上げます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成28年6月28日

熊本県人吉市議会

意見書提出先
熊本県知事

蒲島 郁夫 様